

経営者インタビュー④

～人材育成、職業訓練に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成についてインタビューした内容の一部を紹介します。採用された修了生のことについてもお聞きしています。

第4回目となる今回は、株式会社昭立造園 取締役総務部長 阿部 祐子 氏に登場いただきました。

株式会社昭立造園

所在地：東京都昭島市緑町3-19-23

創業：昭和46年5月

事業内容：造園工事・公共緑化工事、植木の手入れ・ガーデニング
・エクステリア、自動車事故の損害復旧

従業員数：66名

会社HP：<http://www.shouritu.com/>



Q1（修了生に限らず）採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

まずは**協調性**です。1つの現場を数名で作業を行いますので、協調性があるかを見ています。あとは、体力と健康面です。

Q2 訓練を受けて、実際に貴社で働いている修了生はどのような感じですか。

趣味と仕事の違いでミスマッチが発生してしまうこともあります。その点、訓練を経験してくると、仕事に対する認識が、仕事を理解した上で入社してきています。**訓練を通じて「自分のやりたいこと」がきちんと明確化している**からでしょう。

Q3 就職してからのミスマッチを防ぐにはどうしたらいいと思いますか。

会社によって仕事の色合い・得意分野は異なるので、ミスマッチを防ぐためにも当社では面接の際に**仕事内容をしっかりと伝える**ようにしています。訓練校でもそのような点をお伝え頂き、修了生の皆さんには**会社情報をしっかりとつかんで**ご自身に合う企業を見つけてほしいです。

Q4 職業訓練を外部へもっとアピールするために、どのようなアイデアがありますか。

訓練校の施設や設備を企業に見てもらうことが一番です。企業は、求職者との出会いの場を探しています。施設見学を開催されれば訓練内容も理解してもらえますし、さらに**生徒と交流できると修了生の魅力が伝わる**と思います。

Q5 これから訓練を受けてみようという人に向けて、エールをお願いします。

訓練を通していろいろな経験を積むことができます。資格を取ってから面接を受ける方が当然有利です。何よりも仕事への理解も深まり、就職後のミスマッチも防げます。さらに同じ職を目指す仲間ができます。**訓練校は遠回りではなく、多くを得ることが出来る場所**です。

阿部取締役、ありがとうございました！